

# 豊後高田市立三浦小学校

## 学力向上プランの概要

- ① 児童同士でお互いに考えを高めあう授業展開
- ② 学ぶ意欲につながる主体的・対話的な交流の場を設けた授業づくり
- ③ 家庭・地域の連携強化による基本的生活習慣の定着

## 効果のある取組事例

- ① 児童の意欲と納得につながる「めあて」「課題」「まとめ」「ふり返し」を設定した「問題解決的」な授業の展開
  - ・ 校長の日常的な授業観察と学期に一人一回の互見授業。
  - ・ 毎月の学校公開日の際、授業者の自己評価につなげるための「簡略指導案」の提示。【資料】
  - ・ 授業後の板書を写真に撮影し、職員間で交流する。
- ② 子どもが深く考え、意見を交流する場の設定
  - ・ 授業中辞書を積極的に活用する。自分の考えや感想をまとめ表現する短作文に毎日取り組む。
  - ・ 学習したことを発表し合ったり、授業の導入や定着に活用できるゲームをしたりするなど異学年との交流の場を毎週1回以上設定する。
- ③ 新学習指導要領、授業改善等についての研修
  - ・ 教務主任を中心に、「資質・能力の育成」「新大分スタンダード」についての計画的に研修を行い、職員間の共通目標を設定する。
- ④ 家庭・地域と連携した基本的生活習慣・基礎基本的な知識の定着。
  - ・ 年5回の生活ノートづけでは、「家庭での学習時間」、「就寝時間」、「テレビ視聴」の時間について、児童が自分で目標を設定し評価する。
  - ・ 地域の学習サポーターを活用した「学びの21世紀塾土曜講座」「夏休みステップアップ学習」の実施。
- ⑤ その他の学力向上の取組
  - ・ 学習スキルタイムや補充学習の実施。
  - ・ 「学びの21世紀塾土曜講座」と授業内容を連携させて、基礎学力の定着を図る。

三浦小 ( ) 年 ( ) 科 簡略本時案 授業者【 】				
単元名	※本時の活動内容を書く(「課題」・「めあて」とリンクしていること)	題材名	※題材のタイトル	本時 ○/△
ねらい	※1 本時で扱う題材、手だて、目標到達点を明からにする。 ※2 〈～を〉、〈～することにより〉、〈～することができる〉。			
過程	学 習 活 動 等			
導入	※1:基本的に、「①課題提示、②考える、探る、③発表する、④まとめる」という、学習活動の展開。 ※2:「①課題」については、疑問形で、子どもたちが「考える視点」、「学び甲斐」を持てるように、より具体性を帯びているものを設定する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">●課題は単実線</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">●めあては単点線</div> </div> ※3:「めあて」については、課題解決をしていくための方向性を表し、①の課題の前後に記す。			
展開	※4:「②考える、探る」活動については、ペア、グループなどの学習形態、ホワイトボードやノート、ワークシートなどの有効的なツールを明記する。 ※5:「③発表する」では、子どもたちが発言しやすいようにするための工夫や思考する事柄を絞り込ませるための発問など、授業者としての工夫があれば記入しておく。			
終末	※6:「振り返り」については、「④まとめる」のなかに、「振り返りとして～」や「～をして振り返る。」などといった表記で書き加えておく。 <div style="border: 3px double black; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>●まとめは二重実線</span> <span>(「課題」とリンクしていること。)</span> </div> ※7:導入は①、展開は②、③、終末は④の各活動とする。			

三浦小 ( ) 年 ( ) 科 簡略本時案 授業者【 】				
単元名		題材名		本時 /
ねらい				
過程	学 習 活 動 等			
導入				
展開				
終末				